

法被のまち

～いいだらしさと出会う舞台～

飯田には江戸時代から続く町組があり、それぞれに表徳・法被・神社を持っています。

また、飯田には年間40以上の祭りがあり、

各町には祭りを通して培われてきた豊かな歴史や文化、人のつながりがあります。

それらはまちごとに特色があり、その一つひとつが“いいだらしさ”です。

この計画では“いいだらしさ”を飯田の最大の魅力として表出させます。

法被の絵はその“いいだらしさ”が集まった飯田の姿を表しています。

来訪者はまちを散策し、たくさんの“いいだらしさ”に出会い、

そしてりんご並木にたどり着きます。

① 駅前からりんご並木への通りを賑わいのある歩行者空間とします

A. 歩行者がまちを自由に往来できる交通ルールを設定します

中心市街地内には新しく交通ルールを設け、市街地へ行き来する車や高速バスは新しいルートを使用します。それに伴い街中に散らばる駐車場を横通りに再配置・集約化します。

B. 歴史を繋ぐ縦通りをまちの賑わいの軸として設定します

縦通りを人々が行きかう主要動線として設定します。特に通り町は中心市街地の中心を通り、駅前大舞台広場からりんご並木や文化施設、飯田城跡地等の街の重要な拠点を結び、飯田の歴史を一気に縦断する場となります。

② “まち舞台”と“大舞台広場”を中心にまちの特色や魅力を創出します

C. 各町の特色を育む“まち舞台”をつくります

まち舞台を設け、それを中心に各町がそれぞれの特色を創出する場をつくります。まち舞台は祭りで使う神輿や屋台、道具等を展示・保管する場、稽古をする場、公演を行う場となります。

D. 各町の文化や祭りの拠点となる“大舞台広場”をつくります

通り町の始点に大舞台広場を設け、それを中心として駅周辺の整備を行います。大舞台広場は多種多様な祭りや文化の拠点であり、飯田の玄関口としての顔となります。

③ 多種多様な文化や自然をもつ飯田を世界にアピールします

E. 季節の祭りや植生や生活をまちに取り込みます

祭りやまち舞台、飯田の植生を活用して、色彩や音や香りで季節を感じる町づくりをします。あの太鼓のリズムが聞こえてきたら夏の季節といったように、人々の暮らしと植生が呼応しながら、まちの中に飯田の四季が生み出されます。

F. “いいだ祭り”を提案します

いつもは別々に祭りを行っている各町や神社、団体が通り町にそれぞれの神輿や屋台、花火を出すことで、“いいだ”の歴史や文化、人々が歴史を繋ぐ大通りで一つに集結します。

そこに、多種多様な文化をもつ飯田のドラマティックな姿が表出します。

マスタープラン

- 歩行者道路 : プッチー以外の車両は通行禁止とする。
- 歩行者優先道路 : 車両制限する。中央通りはボンエルフにする。
- 交通用道路 : 車両の主要動線とする。
- 並木道 : プッチー以外の車両は通行禁止とする。
- 大舞台広場 : 飯田の祭りや文化、駅前エリアの中心の場。
- 各町のまち舞台 : 各町の中心の場。
- 文化エリア : 自然と歴史とエコロジーのエリア。
- 交通エリア : バスや電車、リニアの交通拠点。
- 商業エリア : 大小の商店が南北に連なるエリア。
- 駐車場 : 各町に散らばる駐車場を横通りに集約する。

